

令和5年度 第1回 浜松市立西都台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和5年4月26日（水）午後1時10分～午後3時20分
2. 開催場所 西都台小学校 2階 研修室
3. 出席委員 竹山慎太良、野島治代、鈴木正慶、竹村義秀、吉野好永、松下正行、寺田茂紀、明戸良美、坂下奈生子
4. 欠席委員 田澤健司
5. オブザーバー 徳増宏之（入野協働センター所長）
6. 学 校 井口幸英（校長）、藤井早苗（教頭）、伊藤啓太（教務主任）、和久田里恵（CS ディレクター）
7. 傍聴者 なし
8. 協議事項
  - （1）会長及び議長の選出について
  - （2）西都台小学校運営基本方針について
  - （3）いじめ防止等の基本方針について
  - （4）本校における「総合的な学習の時間」「生活科」の全体計画と各学年の取組について
9. 会議録作成者 CS ディレクター 和久田里恵
10. 会議記録

司会の藤井から、委員総数の過半数の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）会長及び議長の選出について

司会から、会長・議長の選出について昨年度に引き続き、竹山委員にお願いしたい旨を報告したところ、全員異議なくこれを承認した。

また、今年度から新しく協議会委員のメンバーとして、志都呂団地自治会長の野島治代さん、志都呂自治会長の鈴木正慶さん、PTA会長の寺田茂紀さんにご協力いただく旨を報告した。

（2）西都台小学校運営基本方針について

校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明をした。

（3）いじめ防止等の基本方針について

教務主任の伊藤から、別紙資料に基づき西都台小いじめ対応フローチャートについて説明をした。詳しくは西都台小学校ホームページを見てほしい。

（4）本校における「総合的な学習の時間」「生活科」の全体計画と各学年の取組について

まず、今年度より新設した発達支援学級の「なかよし」と、3年生の「総合的な学習～竹はかせになろう」の授業を参観していただいた。

次に、教職員の紹介をし、各学年の昨年度と今年度の学年主任から、学年ごとの「総合的な学習の時間」「生活科」についての取組を説明した。委員からは以下の発言があった。

**授業参観**

【発達支援学級「なかよし」について】

- 教室内の雰囲気違ってロッカーやヘルメットの置き場など、わかりやすく目で見て分かる工夫がしてあっていいなと思った。（坂下委員）
- 新設学級に対してまだ理解できていないところもあり、人数が少なく寂しくないかなとも思った。

(明戸委員)

⇒現在4名の児童がいて、先生と1対1のときもあったり、異学年で交流することもあったりと、より良い方向に進むように臨機応変に、しなやかに対応していければと思う。(学校)

- 「なかよし」というクラスの名前はどのように決めたのか。(松下委員)  
⇒教職員にて、温かい子供たちに合う名前をいくつか出し合い、考えた。(学校)
- 子供たちが楽しく学校に通いたくなるようにあたたかい名前もいいが、今後、クラス名を検討する機会があるときは、西都台小らしさが出る「竹」を想像させるような名前もいいのではと思う。(松下委員)

#### 【3年生の「総合的な学習の時間～竹はかせになろう」について】

- 昔にはないようなユニークな授業。子供たちがこの体験を通して何か得てくれたらと思う。(鈴木委員)
- 総合的な学習の時間の中で、防災のことを扱ってほしい。防災というと堅苦しく、危ないイメージだが、子供たちにより防災カルテを作ったり楽しく学ぶことにより、保護者にも防災の知識が広まればと思う。(松下委員)

#### 【熟議】～各学年の「総合的な学習の時間」「生活科」についての取組～

##### 【1年生：学校はどんなことをするのか。安全で楽しいと知ってもらおう】

- 4月の下校指導。担任だけではなく、たくさん目で見守ってもらえるとありがたい。
- 今後、子供たちだけの下校になったときも、坂を下ったジェームスのところの信号のある長い交差点にて、距離が長く渡りきれないので信号が点滅したら止まるという判断ができていくか、見守りがあると安心。
- 公園探検へ行く途中の見守りや、給食の配膳のやり方など教えていただけるとありがたい。  
(R4学年主任 大石 R5学年主任 鈴木より)
- 交通ボランティアの人数が足りていない。毎日やるのは大変なので、週1でもやってくれる人がいると助かる。(坂下委員)
- 皆さん忙しいので、地域の方に交通ボランティアをお願いしづらい。PTAでも旗振りをやっているが、人数を増やしていくのかどうしていったらいいのか。(明戸委員)
- PTAの旗振りボランティアでも今後、協力を募っていきたい。(寺田委員)

##### 【2年生：地域に出かけていく】

- 5月のさつまいも苗植え、11月のさつまいも収穫にて、ボランティアが必要。
- 個人でも各々野菜を育てるので、虫が出たり病気になったりしたときなど、子供たちの疑問が出たときにどうしたらいいのか教えてくれるとありがたい。
- 交通安全教室など、外に出掛ける時の見守りや、夏のプール指導も協力していただくと助かる。  
(R4学年主任 宮下 R5学年主任 大石より)
- 野菜を育てるのは難しく、教えてあげたいがフリーに学校に出入りすることはできないので、タイミングがつかめない。自分でバケツの中で育てる「バケツ稲」も簡単にお米が育てられて楽しいので機会があればやりたいなと思っている。(竹村委員)

⇒生活科の授業の時間を事前にお知らせして、子供たちにてまとめておいた野菜を育てていく中での疑

問を質問する場がもてたらと思う。(学校)

- 野菜を育てる途中で枯れてしまった時に、子供が悲しまないようにフォローをお願いしたい。

(鈴木委員)

- 野菜を育てるだけではなく、自分が育てた野菜を食べることが大事。野菜嫌いが好きになったり食育につながっていく。今、子供食堂がよく取りあげられているが、地域と子供がつながっていく場として、大変ではあるがこういった活動もいいと思う。(松下委員)

【3年生：テーマ「竹はかせになろう」竹を通して1年学ぶ】

- 竹割は、のこぎり、なたを使用するため、そこで保護者だけでなく地域のボランティアもお願いして、みんなで安全に活動できるようにしたい。
- 昨年は、コロナにより活動が中止になってしまったので、今年度こそは竹細工(竹のカスタネット、竹のおもちゃ等)をしたい。子供たちも喜ぶし、地域の良さを実感できる活動なので、是非ボランティアできる方をお願いしたい。

(R4学年主任 伊藤 R5学年主任 峯より)

- 前回、民生委員だった方や、西鴨江にも何人か竹細工が得意な方がいる。お願いすればやってもらえると思う。(竹村委員)

【4年生：テーマ「共に生きる」福祉について学ぶ】

- 6月のユニバーサルデザインについて浜松駅を見て学びに行く際と、福祉体験として車いすやアイマスクを経験する際も、ボランティアをお願いしたい。

(R4学年主任 鈴木 R5学年主任 大木より)

- 福祉についての学ぶことにより、自分の親や祖父母を大切にしようという心が芽生えそうでとてもいい。(竹山委員)
- コロナ前は、4年生と地域のおじいさんおばあさんが一緒に遊ぶ活動もしていたので、徐々に再開できるとよいと思う。(吉野委員)
- 市に問い合わせれば、資格をもったUDサポーターを紹介してもらえることができるため、ユニバーサルデザインについて学べると思う。(松下委員)

【5年生：テーマ「みんなの環境ファイル」環境について学ぶ】

- 米作りの体験の中の「稲刈り」「脱穀」は、大人数でないとできないので、ボランティアをお願いしたい。
- 稲刈り・脱穀した後の残ったもので、何か作ることができると楽しいと思うので、できる方がいればお願いしたい。
- 5年生で初めてクッキングとソーイングの授業が始まるので、サポートしていただける方が多いと助かる。

(R4学年主任 天野 R5学年主任 宮下より)

- しめ縄を作れる人がなかなか少なくなっているが、まだお願いできる人はいると思う。

(竹村委員)

- 正月飾りとして、しめ縄に稲の穂を付けると素敵にできると思う。(吉野委員)

【6年生：テーマ「夢に向かって」総まとめ＋中学に向けて】

- 今年度は、西都台小にある竪穴式住居の屋根の葺き替え作業がある。6年生は歴史の授業が唯一ある学年なので、6年生が代表になってやっていきたいと子供たちも張り切っている。勉強にもなり、達成感も味わえると思うので、是非手伝ってほしい。
- クッキングとソーイングについて、2年目ではあるがまだ不安もあるので、1班に1人サポートしてくれる人がいると助かる。
- 将来どんな仕事をしたいか考える活動において、インターネットで調べるだけでなく、いろいろな職業の方から直接、話を聞く機会があるとよりよいものになると思うのでチャンスがあればお願いしたい。

(R4学年主任 峯 R5学年主任 天野より)

⇒どの学年の子供たちも関心が高い竪穴式住居の葺き替えについて、1月20日(土)の完成に向けて秋から少しずつPTA会長の寺田さんと協力してやっていきたい。しかし、PTAだけではとても無理なので、たくさんの方に協力をお願いしたい。(学校)

- 葺き替え作業に必要な材料を確保するのが大変なので、今のうちから考えておきたい。(竹村委員)

【なかよし】

- 人と関わるのが大変な子もいる。カレー作りや車いす体験など、一緒にできることがあれば様子を見ながら取り組んでいき、学びにつなげていきたい。

(なかよし担任 南田より)

(入野協働センター 徳増オブザーバーより)

- 竹のようにしなやかに、竹村委員をはじめ地域の方と先生とが協力して地域の特性を生かした活動ができていると思った。
- 近隣の小学校では節目のイベントをするようなので、西都台小も何か団結できるようなイベントをするとよい。
- 申請をすれば補助が出る団体もあるので、利用するのも手だと思う。
- 外国人対象の放課後学習ボランティアをやっている学校もあるので、何かできる講座がないか参考にしてほしい。

(学校支援コーディネーター 坂下委員、明戸委員より)

- 今年度は、ボランティアの募集を請け負う体制を整える1年にしたい。
- ボランティアの方を「竹っ子サポーター」と呼び、この名前が広く根付いていくといいなと思う。名前を広めていく取組として、子供が絵を描き、手作りした名札を竹っ子サポーターの方にはつけてもらい、親しみを持ってほしい。
- 花を植え、摘み、押し花を作るようなイベントにも取り組んでいきたい。
- 現在、人が足りていないので交通ボランティアの協力をお願いしたい。自治会の集まりがあったら声を掛けてほしい。

(校長より)

総合的な学習の時間や生活科の学習における子供たちの学びを、より多くの方に発信する場として、

地域にある施設、例えば、イオンモール志都呂店の場を利用させていただくのはどうだろう。子供たちの思いを踏まえつつ、保護者や地域の方の御意見をいただきながら、来年度に向けて検討していきたい。

司会から、次回会議は、令和5年7月27日（木）午後1時30分から西都台小学校2階研修室で、教職員とともに開催する旨の報告があった。